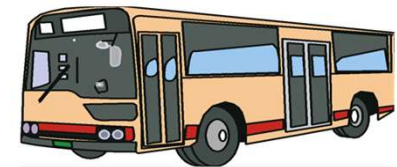


# 屋代須坂線の運行見直しについて



長野市交通政策課

## これまでの経過

年	内 容
平成21年5月	長野電鉄活性化協議会設立（長野市、須坂市、千曲市 他）
平成23年2月	協議会において長野電鉄屋代線廃止を決定
平成24年4月1日	長野電鉄屋代線廃止
平成24年4月	代替バス【屋代須坂線、綿内屋島線、綿内村山線】の運行開始
平成25年6月	長野電鉄活性化協議会解散（代替バス運行1年経過）
平成25年10月	綿内村山線を廃止（公共交通活性化・再生協議会で協議）
平成26年4月	消費税による運賃改定
令和2年4月	ダイヤ改正（高速便廃止、減便、一部シンリク観光へ委託）
令和6年1月	1月1日便を運休 1月21日から当面の間、日曜日を運休

## 見直しの背景

### ①日曜全便運休

- ・ 運転手不足により令和6年1月21日（日）ら長電バスの全路線で運休が続いている

### ②日曜運休解消に向けた状況

- ・ 早期解消に向け雇用確保に取り組んでいるが、現時点で補充ができていない
- ・ 離職者等もあり、計画的な解消に向けた取組が困難な状況
- ・ 運転手確保の状況に合わせ、バス事業者が部分的な再開に向け検討中（期日は未定）

### ③長距離路線による運転手増の影響

- ・ 屋代須坂線は、鉄道の廃止代替路線のため、運行距離が長く、他の路線と比較して必要な運転手数が多い状況
- ・ 土休日も平日と同様の本数による運行（松代高校便なし）※

現行の必要運転者数: 平日 9 人, 土休日 9 人（一般的な路線 ※ 平日 5 人 土休日 3 人）

※サービスレベルを同じとした場合

## 目 的

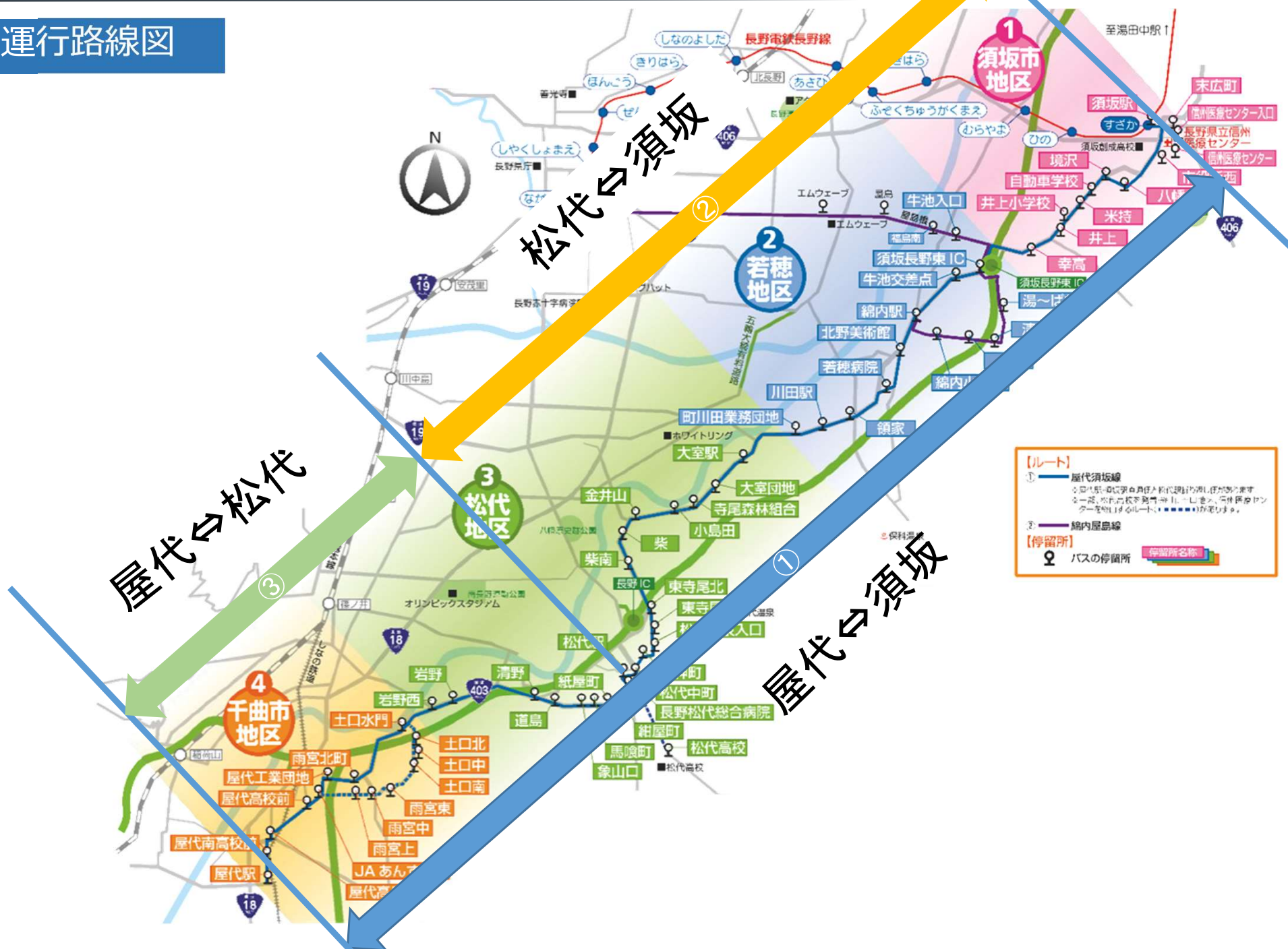
### ①長電バス全体路線網の維持

### ②現行の全路線の運行便数に必要な運転者数の確保

# 屋代須坂線運行概要

4

## 運行路線図



## 調査結果

詳細な分析はシート10から15

- ① 平日は、朝夕の通勤通学の時間帯の利用が多いが、日中は比較的少ない。
- ② 土休日は、1便当たり1人から3人と少ない。
- ③ 平日のバス停別乗降回数をみると、須坂駅、市役所西、松代駅、松代高校、屋代高校前、屋代駅など特定のバス停の利用が多い。
- ④ 中・高校生の利用が多く全体の7割を占めている。
- ⑤ 休日のバス停別乗降回数をみると、須坂駅、市役所西、綿内駅、北野美術館、若穂病院、松代駅、松代総合病院、屋代高校前、屋代駅などの特定のバス停の利用が多い。
- ⑥ コロナ禍の影響を受け利用は約25%減り、2022年度時点では回復していない。

## 見直しの考え方

- ①利用が多い、中高生の利用実態に合わせた運行の調整
- ②利用が少ない土休日の運行本数・時間の調整
- ③平日の利用が少ない時間帯の便・時間の調整

## 期待される効果

- ①減便により運行を担う運転手を抑制することができ、**他の路線の維持や日曜運休の解消が期待される**
- ②減便することで、経費を抑えることができる  
※**国庫補助路線のため、補助対象路線となる最低便数に調整**

## 課 題

- ①減便により、他の路線に充てる運転手の確保につながるが、以前の体制を維持するまでには至っていない
- ②路線バスの事業者がなく、他の事業者に依頼することもできない

# 屋代須坂線運行見直し（案）

7

運行便数の見直しによって必要な運転手数を減らし、運転手不足解消につなげる

運行概要	現在	見直し案
運行日	月曜日から日曜日までの週7日 （※現在は、日曜運休）	月曜日から日曜日までの週7日 （※運転手不足解消後まで日曜運休）
運行便数	<p>【全日】</p> <p>屋代行 17便      須坂行 19便</p> <p>①須坂 ⇨ 屋代 9便      ①屋代 ⇨ 須坂 7便</p> <p>②須坂 ⇨ 松代 5便      ②松代 ⇨ 須坂 5便</p> <p>③松代 ⇨ 屋代 3便      ③屋代 ⇨ 松代 7便</p> <p>※運転手不足により日曜日が運休中</p>	<p>【平日】</p> <p>屋代行 15便      須坂行 15便</p> <p>①須坂 ⇨ 屋代 7便      ①屋代 ⇨ 須坂 5便</p> <p>②須坂 ⇨ 松代 5便      ②松代 ⇨ 須坂 5便</p> <p>③松代 ⇨ 屋代 3便      ③屋代 ⇨ 松代 5便</p> <p>【土休日】</p> <p>屋代行 12便      須坂行 12便</p> <p>①須坂 ⇨ 屋代 6便      ①屋代 ⇨ 須坂 5便</p> <p>②須坂 ⇨ 松代 3便      ②松代 ⇨ 須坂 3便</p> <p>③松代 ⇨ 屋代 3便      ③屋代 ⇨ 松代 4便</p> <p>※見直しにより日曜運休解消が期待される</p>
必要な運転手数	<p>【平日】      9人</p> <p>【土休日】      9人</p>	<p>【平日】      7人</p> <p>【土休日】      5人</p>



## ①関係する市で減便案について確認

- ・3市を路線が跨ることから、3市共通の減便案について確認・協議する(部長会議)

## ②地域公共交通会議での協議

- ・減便案について市民、運行事業者、行政機関等で構成される地域公共交通会議に諮る(市ごとに実施)

## ③運輸支局へ申請

- ・地域公共交通会議での協議が整った後、運行事業者が運輸局へ申請を行う



# 屋代須坂線のこれまでの経過及び今後の予定

9

## 経過・今後の予定

年 月	内 容
令和6年2月	関係地区説明会 方針確認
令和6年2月	周辺中学校・高校へのヒアリング調査
令和6年3月	新運行体制案提示
令和6年4月	新運行体制案に対する意見募集
令和6年5月21日	部長会議
令和6年5月29日	政策説明会
令和6年6月	地域公共交通会議・運輸局へ申請
令和6年6月	プレスリリース
令和6年6月	新時刻表お知らせ
令和6年8月	屋代須坂線の新たな運行開始

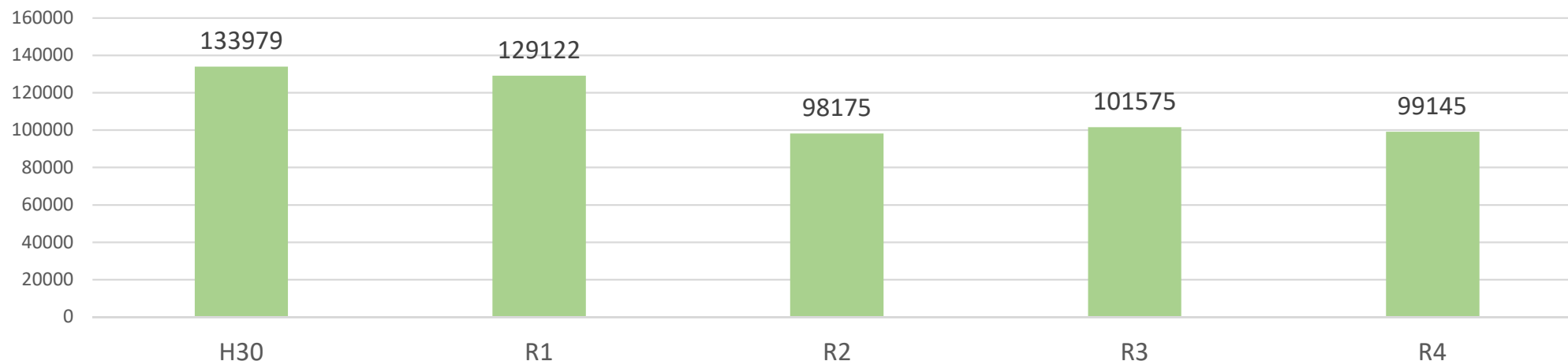
平成30年度（2018年）から令和4年度（2022年）のICカードKURURUのデータによる

## 利用回数の推移

- ・年度別利用回数の推移をみると、コロナ禍の影響を受け利用は約25%減り、2022年度時点では回復していない。
- ・月別利用回数の推移をみると、コロナ禍以前では夏休み期間に利用回数が減っている。  
コロナ禍以降は、感染状況等の影響を受け不安定な増減が続いている。

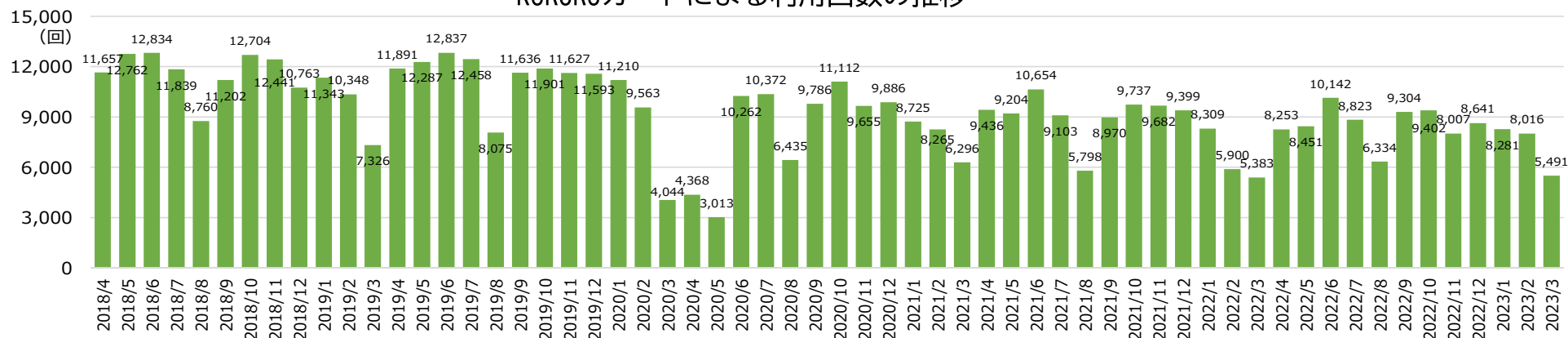
### （１）年度別

KURURUカードによる利用回数の推移



### （２）月別

KURURUカードによる利用回数の推移



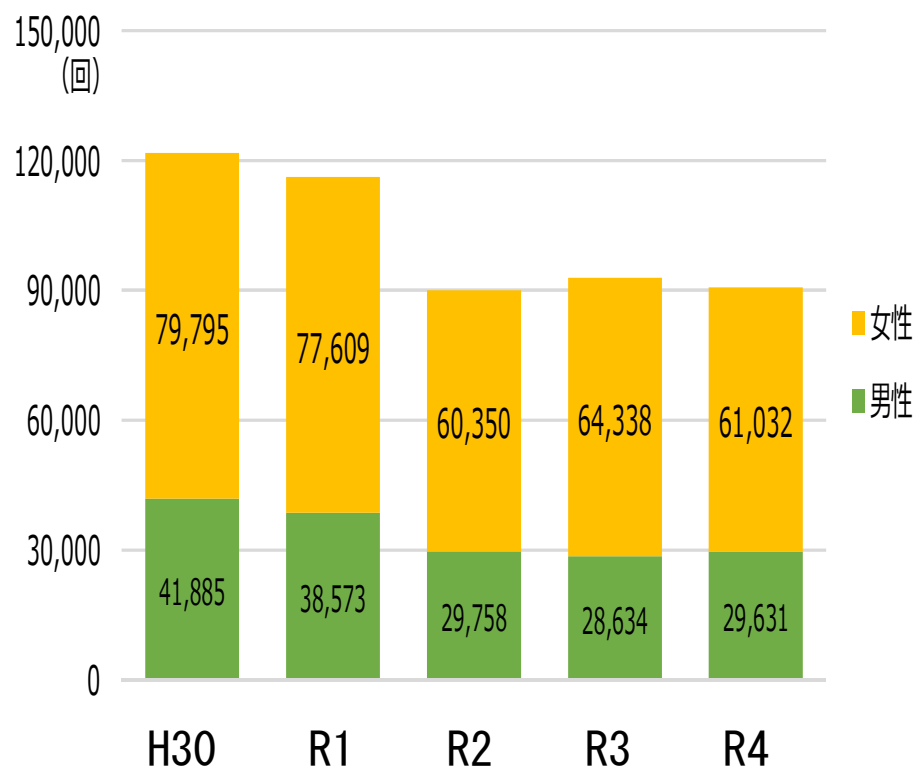
## 利用の属性

・性別で利用割合の推移をみると、横ばいとなっている。

・他の路線と比較して中・高校生の利用が多く全体の7割ほどを占めている。  
・年齢別で利用割合の推移をみると、「15-18歳」（高校生）が微増している。

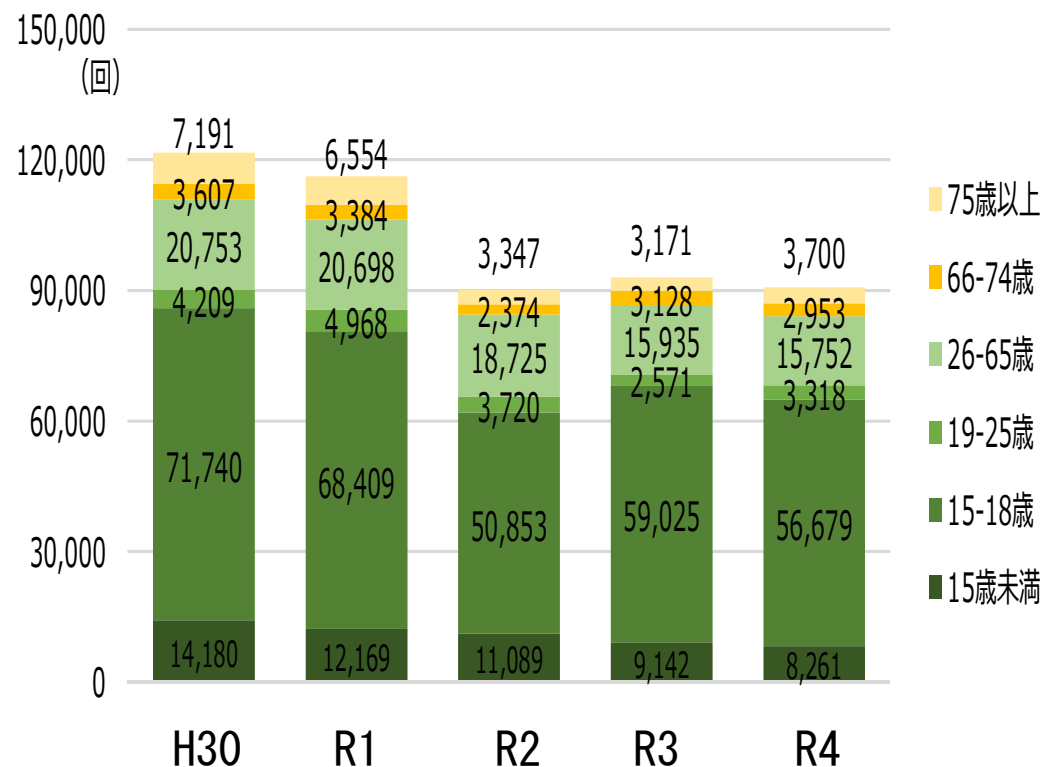
### （１）性別

利用回数の推移



### （２）年齢別

利用回数の推移



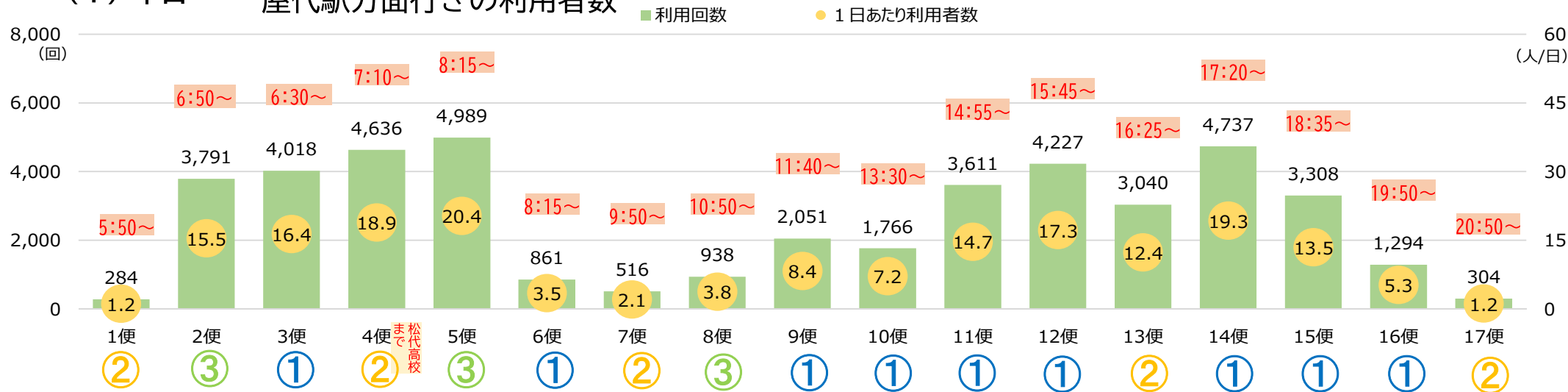
# 【参考】屋代須坂線の状況分析③

12

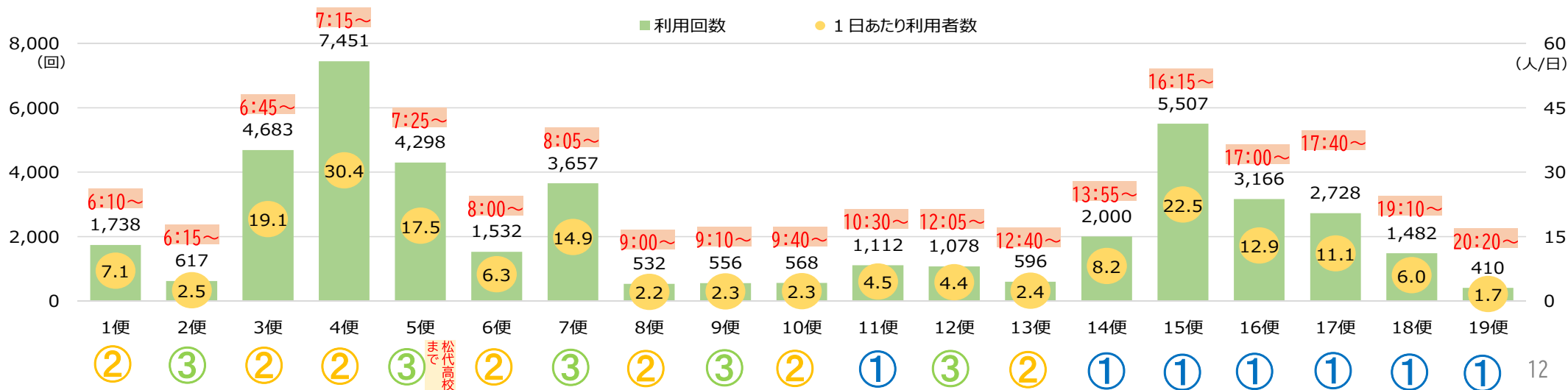
## 一便あたりの利用者数令和4年度（2022年）

- ・平日は、早い時間帯に屋代方面・須坂方面に行き、遅い時間帯に帰ってくる移動が多くなっている。  
日中は利用者数が比較的少ない。

### (1) 平日 屋代駅方面行きの利用者数



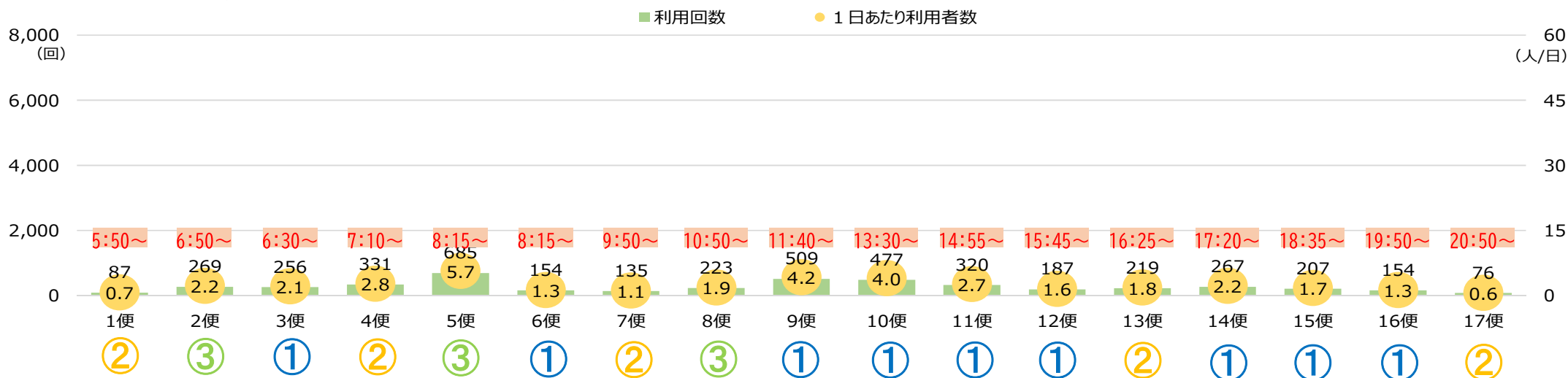
### 須坂駅方面行きの利用者数



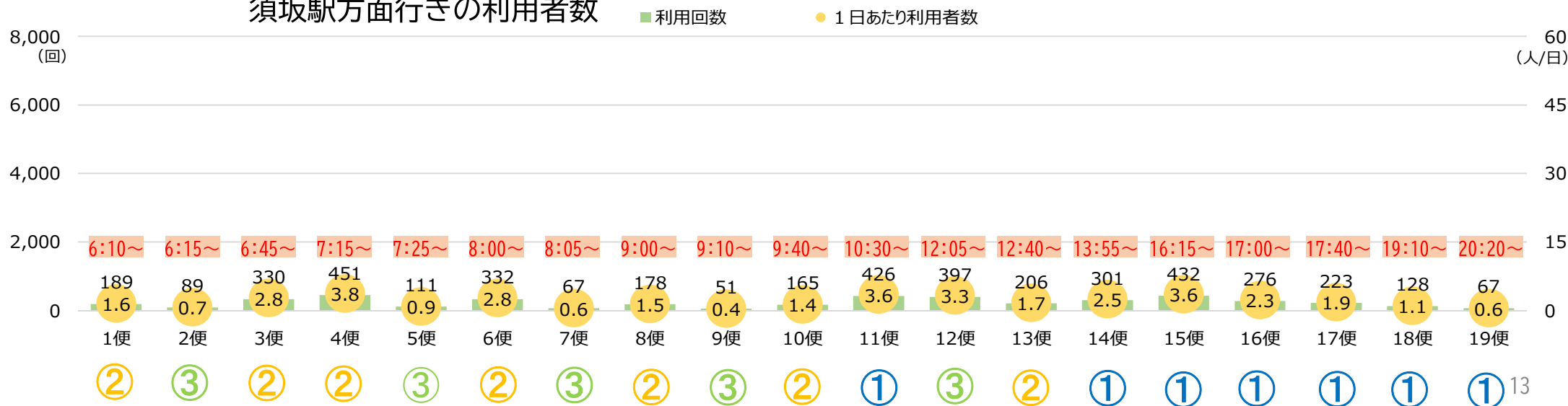
## 一便あたりの利用者数令和4年度（2022年）

・土休日は、平日と比較して利用者数が少ない便が多い。利用者数が1人未満となっている便もある。

### （2）土休日 屋代駅方面行きの利用者数



### 須坂駅方面行きの利用者数



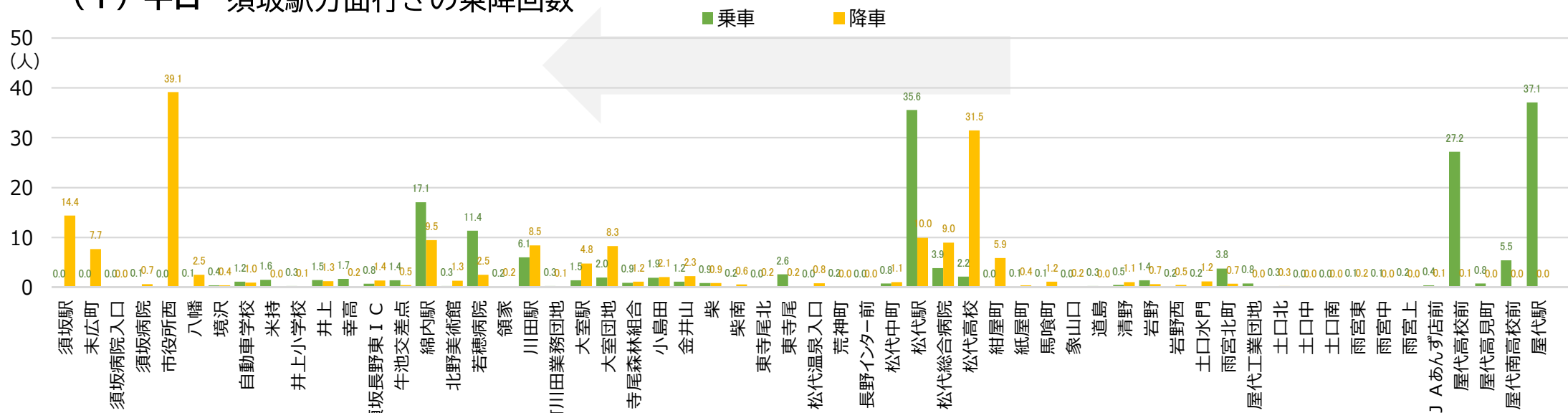
# 【参考】屋代須坂線の状況分析⑤

14

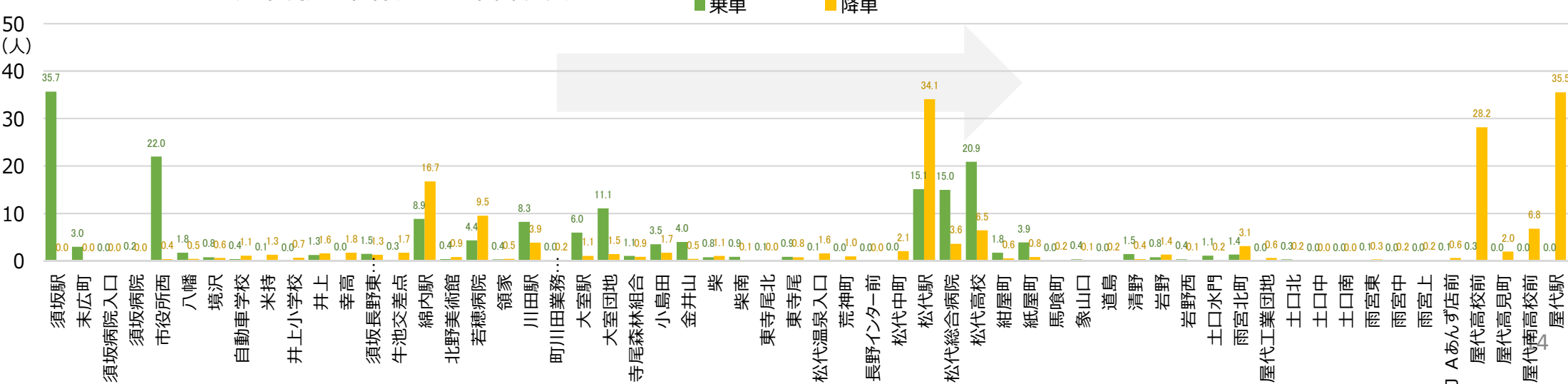
## 一日当たりのバス停別乗降回数令和4年度（2022年）

・平日のバス停別乗降回数をみると、須坂駅、市役所西、松代駅、松代高校、屋代高校前、屋代駅で利用が多くなっている。

### （1）平日 須坂駅方面行きの乗降回数



### 屋代駅方面行きの乗降回数



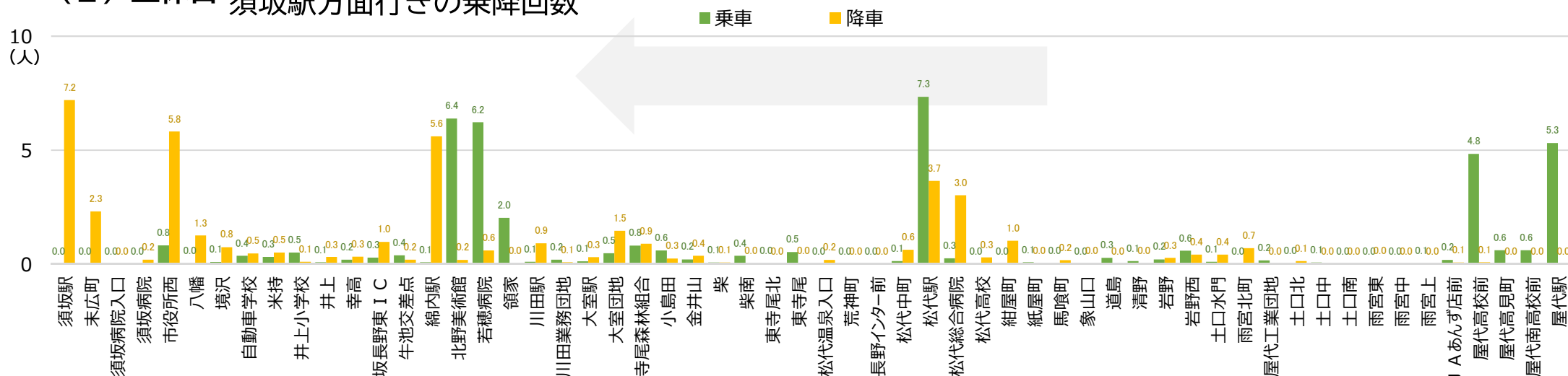
# 【参考】屋代須坂線の状況分析⑥

15

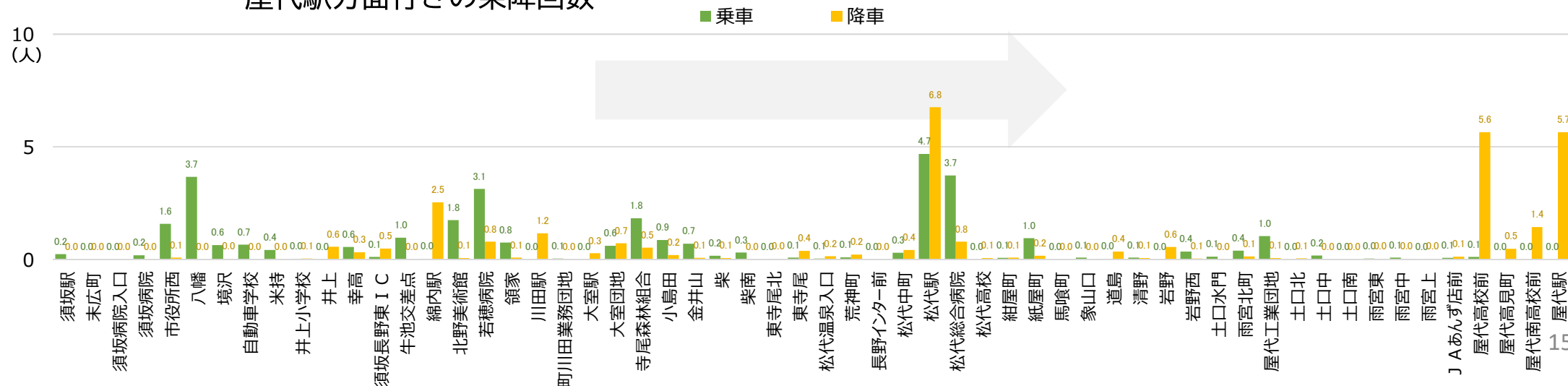
## 一日当たりのバス停別乗降回数令和4年度（2022年）

・土休日のバス停別乗降回数をみると、須坂駅、市役所西、綿内駅、北野美術館、若穂病院、松代駅、松代総合病院、屋代高校前、屋代駅で利用が多くなっている。しかし、平日に比べると利用は少ない。

### （2）土休日 須坂駅方面行きの乗降回数



### 屋代駅方面行きの乗降回数





# 【参考】運行開始時の屋代須坂線運行概要

16

平成24年に長野電鉄の屋代線の廃止に伴い、長電バスによる代替運行として運行を開始

運行概要	運行開始当時(平成24年)	現在
運行日	月曜日から日曜日までの週7日	月曜日から日曜日までの週7日 (※現在は、日曜運休)
運行事業者	長電バス	長電バス、シンリク観光
運行便数 (平日・土休日 とも同じ)	屋代行 23便 ①須坂 ⇨ 屋代 8便 ②須坂 ⇨ 松代 7便 ③松代 ⇨ 屋代 7便 ④須坂 ⇨ 川田 1便 須坂行 25便 ①屋代 ⇨ 須坂 8便 ②松代 ⇨ 須坂 9便 ③屋代 ⇨ 松代 7便 ④松代 ⇨ 須坂 1便(高速便)	屋代行 17便 ①須坂 ⇨ 屋代 9便 ②須坂 ⇨ 松代 5便 ③松代 ⇨ 屋代 3便 須坂行 19便 ①屋代 ⇨ 須坂 7便 ②松代 ⇨ 須坂 5便 ③屋代 ⇨ 松代 7便
運行時間	屋代行 始発 6:00 最終 21:50 ※川田駅止まり 須坂行 始発 5:45 ※松代駅発 最終 21:15	屋代行 始発 5:50 最終 20:50 ※松代駅止まり 須坂行 始発 6:10 ※松代駅発 最終 20:20
年間利用者数	約27万8千人(平成24年度)	20万人程度で推移(令和2年～令和4年)